

概要版

坂東市国民健康保険 第3期データヘルス計画 第4期特定健康診査等実施計画

(対象期間) 令和 6年度 (2024年度) から
令和11年度 (2029年度) まで

平成30年3月に第2期坂東市国民健康保険データヘルス計画（計画期間：平成30年度から令和5年度まで。）を策定し、保健事業を実施してきました。この度、第2期計画の実施結果及び評価と、国等が示す方針を踏まえ、被保険者の健康の増進および健康寿命の延伸を図り、保険財政の健全化を目指すため、新たに第3期データヘルス計画（計画期間：令和6年度から令和11年度まで。）を策定しました。また併せて、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第19条第1項の規定に基づき、平成20年度から特定健康診査等実施計画を策定しており、第3期特定健康診査等実施計画（平成30年度から令和5年度まで。）の終了年度となることから、第3期の実施結果及び評価を踏まえ、新たに第4期特定健康診査等実施計画（計画期間：令和6年度から令和11年度まで。）を策定しました。

目次

計画の背景

1.データヘルス計画・特定健康診査等実施計画とは	P.1
2.国保データベースシステム等の分析から読み取れる健康課題	P.2
課題1 医療費の状況	P.2
課題2 社会保険表章用疾病分類（大分類）による医療費の状況	P.3
課題3 人工透析者の状況	P.3
課題4 特定健康診査・特定保健指導の状況	P.4
課題5 生活習慣病の基礎疾患の推移	P.5
3.第3期データヘルス計画の目標	P.6
4.第4期特定健康審査当実施計画の目標	P.9

データヘルス計画・特定健康診査等実施計画とは

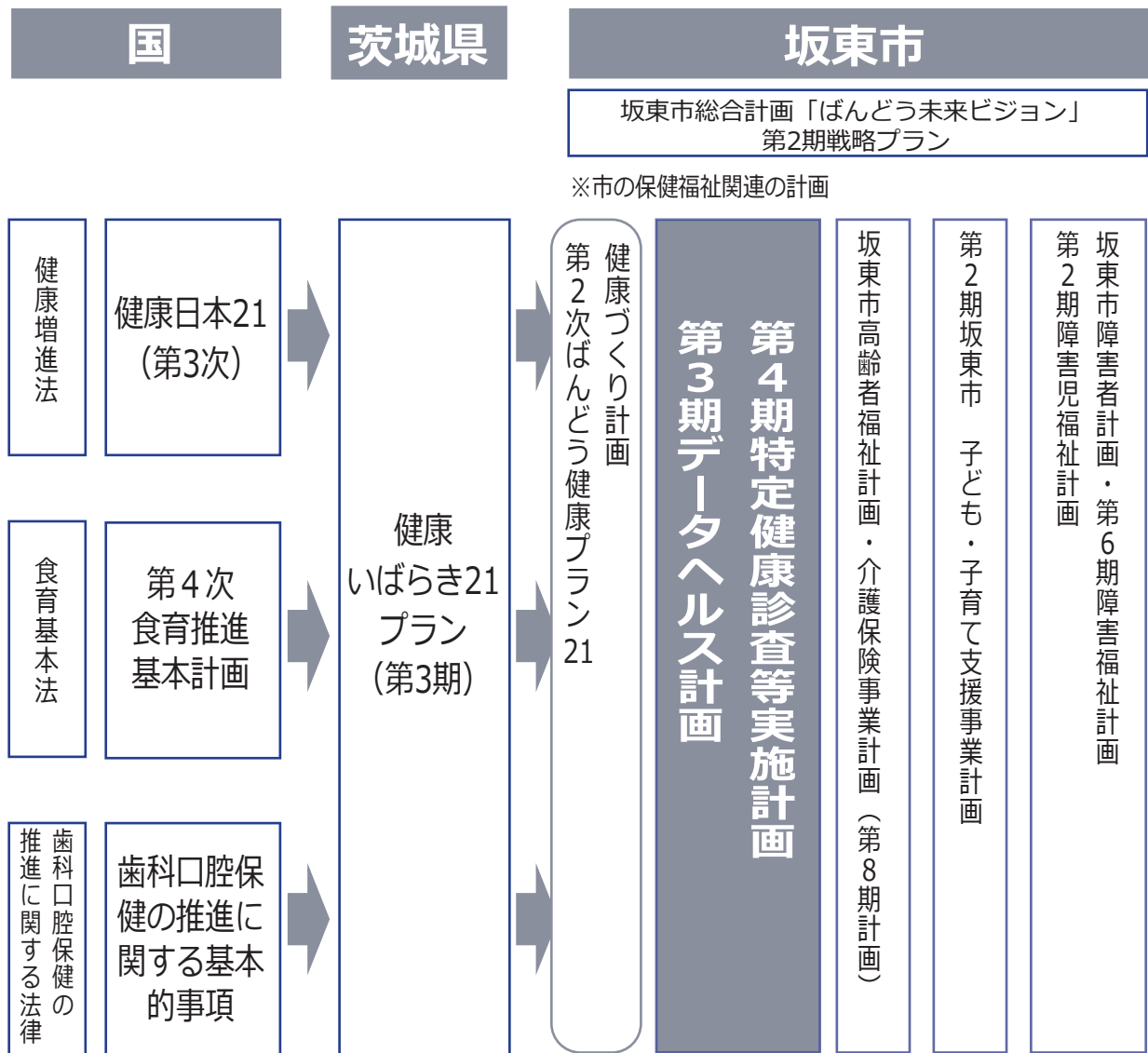
データヘルス計画とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者等が効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、特定健診等の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って運用するものです。

特定健康診査等実施計画とは、生活習慣病の重症化を予防するために、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善が必要となる対象者に専門職員が保健指導を行うことで、生活習慣病の発症の予防を行うもので、それを効果的に実施するための計画となります。

計画の策定に当たっては、KDBシステムのデータ分析・活用を中心に現状・課題の把握を明確にし、目標を設定します。

第3期データヘルス計画

第4期特定健康診査等実施計画の位置づけ



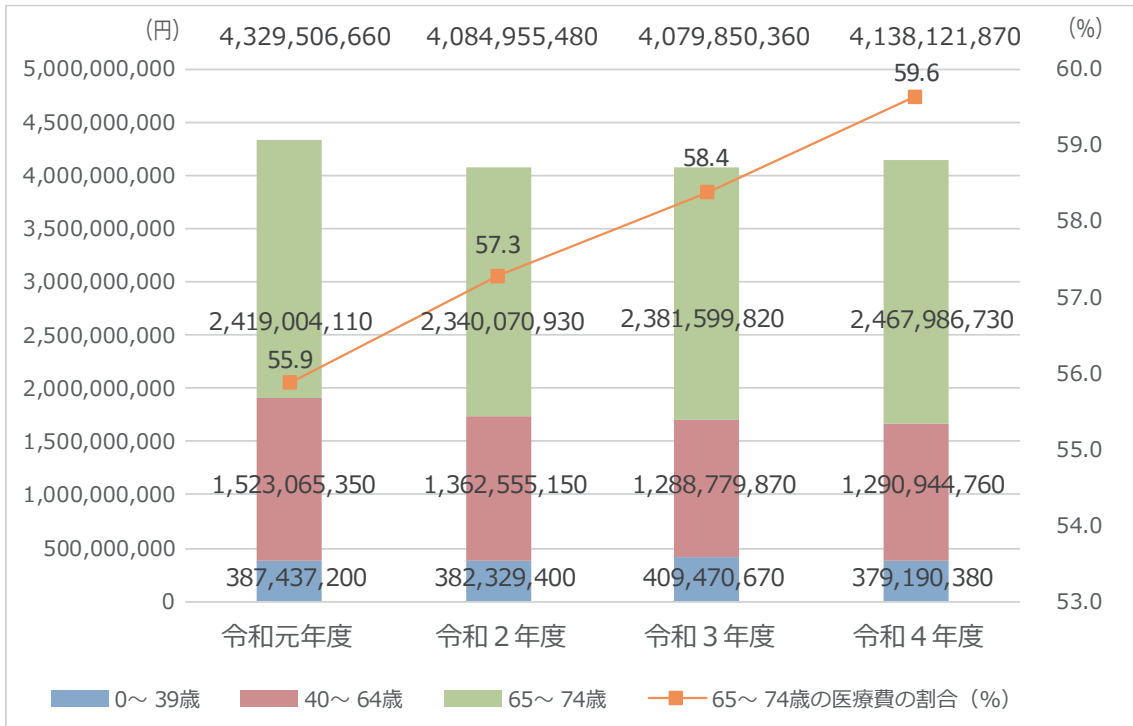
国保データベースシステム等の分析から読み取れる健康課題

健康・医療情報等の分析から、健康保持増進と疾病予防及び医療費適正化の視点から見える本市の健康課題が明らかになりました。

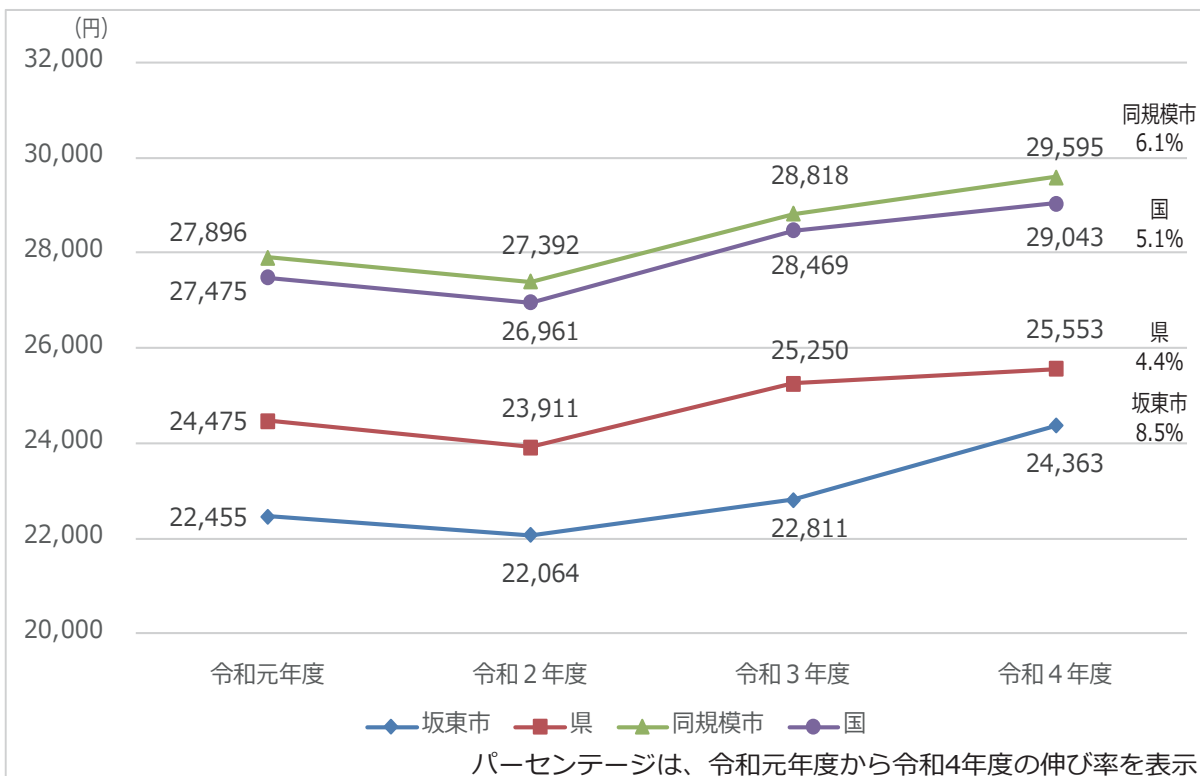
課題1 医療費の状況

被保険者数は減少しているが医療費は横ばいの状況であり、1人当たりの医療費は増加しています。

医療費の推移（令和元年度～令和4年度）



1人当たりの医療費の推移（令和元年度～令和4年度）（月平均）



課題2 社会保険表章用疾病分類（大分類）による医療費の状況

社会保険表章用疾病分類（大分類）における医療費をみると、入院と外来を合算した最も高い医療費は「循環器系の疾患」となっていることから、「高血圧症」「糖尿病」「脂質異常症」の悪化から「心疾患」「脳血管疾患」へと重症化させない取り組みが必要です。

社会保険表章用疾病分類（大分類）による疾患別医療費統計（令和4年度）

大分類別疾患	入院			外来			入院+外来		
	医療費 (円)	医療費 割合 (%)	順位	医療費 (円)	医療費 割合 (%)	順位	医療費 (円)	医療費 割合 (%)	順位
循環器系の疾患	338,925,940	21.6	2	319,309,770	12.5	2	658,235,710	16.0	1
新生物<腫瘍>	246,892,930	15.7	3	407,867,890	16.0	3	654,760,820	15.9	2
筋骨格系及び結合組織の疾患	169,840,680	10.8	1	270,909,370	10.6	5	440,750,050	10.7	3
内分泌、栄養及び代謝疾患	19,077,690	1.2	13	372,475,910	14.6	1	391,553,600	9.5	4
精神及び行動の障害	186,286,930	11.9	4	113,834,450	4.5	7	300,121,380	7.3	5
消化器系の疾患	94,144,520	6.0	6	183,395,460	7.2	6	277,539,980	6.7	6
泌尿器系の疾患	65,333,970	4.2	5	202,170,350	7.9	8	267,504,320	6.5	7
神経系の疾患	117,163,250	7.5	10	123,014,840	4.8	4	240,178,090	5.8	8
呼吸器系の疾患	58,527,860	3.7	9	161,071,900	6.3	9	219,599,760	5.3	9
眼及び付属器の疾患	15,684,250	1.0	11	135,267,080	5.3	10	150,951,330	3.7	10
損傷、中毒及びその他の外因の影響	113,470,900	7.2	7	32,840,120	1.3	14	146,311,020	3.6	11
感染症及び寄生虫症	20,437,430	1.3	8	55,454,870	2.2	11	75,892,300	1.8	12
皮膚及び皮下組織の疾患	7,666,510	0.5	12	52,669,890	2.1	15	60,336,400	1.5	13
特殊目的用コード	21,033,550	1.3	14	29,114,340	1.1	12	50,147,890	1.2	14
症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	15,032,980	1.0	17	32,138,330	1.3	13	47,171,310	1.1	15
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21,663,450	1.4	15	14,969,770	0.6	16	36,633,220	0.9	16
周産期に発生した病態	13,768,380	0.9	19	42,520	0.0	17	13,810,900	0.3	17
耳及び乳様突起の疾患	2,012,670	0.1	16	11,690,390	0.5	18	13,703,060	0.3	18
先天奇形、変形及び染色体異常	11,662,400	0.7	18	1,000,130	0.0	20	12,662,530	0.3	19
妊娠、分娩及び産じょく	10,557,750	0.7	20	1,173,760	0.0	19	11,731,510	0.3	20
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,792,290	0.5	21	3,619,290	0.1	21	11,411,580	0.3	21
傷病及び死亡の外因	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-
その他	10,982,510	0.7	-	26,416,690	1.0	-	37,399,200	0.9	-
総医療費	1,567,958,840			2,550,447,120			4,118,405,960		

課題3 人工透析患者の状況

人工透析患者数は減少していますが、令和4年度は新規の人工透析患者数は増加しています。人工透析者の有病状況では、糖尿病の有病者は50%を超えており、糖尿病有病者数の人工透析者が増えていることから、糖尿病の重症化予防が重要です。

新規人工透析患者数と健診受診者（令和元年度～令和4年度）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
レセプト件数	件	456	509	452	422
レセプト点数	点	20,598,962	24,655,631	18,262,931	19,039,868
人工透析患者数	人数	48	48	45	44
糖尿病有病者	人数 割合 (%)	24 (50)	24 (50)	22 (48.9)	23 (52.3)
新規人工透析患者数	人数	-	9	9	12
糖尿病有病者数	人数	-	6	5	9
I型糖尿病患者	人数	-	0	0	0
新規人工透析者で、平成30年度～令和4年度の間に1度も特定健診を受診していない人	人数	-	3	2	2

課題4 特定健康診査・特定保健指導の状況

令和4年度の特定健診受診率は36.8%、特定保健指導実施率は44.1%、動機付け支援の実施率は59.8%と県より高くなっていますが、積極的支援の実施率は10.4%と県より低くなっています。

特定健診受診率・特定保健指導実施率

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
坂東市	特定健康診査						
		対象者数(人)	11,154	10,542	10,373	9,846	9,222
		受診者数(人)	4,463	4,236	2,700	3,443	3,395
		実施率(%)	40.0	40.2	26.0	35.0	36.8
	特定保健指導						
		対象者数(人)	639	608	391	520	485
		終了者数(人)	263	249	164	218	214
		実施率(%)	41.2	41.0	41.9	41.9	44.1
	動機付け支援						
		対象者数(人)	420	419	265	361	331
		終了者数(人)	242	233	144	198	198
		実施率(%)	57.6	55.6	54.3	54.8	59.8
	積極的支援						
		対象者数(人)	219	189	126	159	154
		終了者数(人)	21	16	20	19	16
	実施率(%)	9.6	8.5	15.9	11.9	10.4	
県	特定健康診査						
		対象者数(人)	493,999	477,917	477,174	453,634	428,015
		受診者数(人)	187,855	184,379	125,802	151,994	152,453
		実施率(%)	38.0	38.6	26.4	33.5	35.6
	特定保健指導						
		対象者数(人)	26,596	25,709	16,887	20,752	20,573
		終了者数(人)	8,773	8,403	6,515	6,577	6,796
		実施率(%)	33.0	32.7	38.6	31.7	33.0
	動機付け支援						
		対象者数(人)	19,499	19,114	12,660	15,477	15,098
		終了者数(人)	7,547	7,185	4,712	5,702	5,874
		実施率(%)	38.7	37.6	37.2	36.8	38.9
	積極的支援						
		対象者数(人)	7,097	6,595	4,049	5,275	5,475
		終了者数(人)	1,226	1,218	739	875	922
	実施率(%)	17.3	18.5	18.3	16.6	16.8	
国 (市町村国保)	特定健康診査						
		対象者数(人)	19,116,898	18,545,207	18,385,561	17,865,900	
		受診者数(人)	7,241,436	7,052,402	6,189,888	6,494,635	
		実施率(%)	37.9	38.0	33.7	36.4	
	特定保健指導						
		対象者数(人)	843,444	809,129	707,022	746,177	
		終了者数(人)	243,477	237,273	197,416	208,457	
		実施率(%)	28.9	29.3	27.9	27.9	
	動機付け支援						
		対象者数(人)	647,953	622,232	547,913	571,144	
		終了者数(人)	210,084	204,773	170,122	177,361	
		実施率(%)	32.4	32.9	31.0	31.1	
	積極的支援						
		対象者数(人)	195,491	186,897	159,109	175,033	
		終了者数(人)	33,393	32,500	27,294	31,096	
	実施率(%)	17.1	17.4	17.2	17.8		

課題5 生活習慣病の基礎疾患の推移

令和元年から令和5年の各6月の生活習慣病の基礎疾患の推移をみると、「高血圧症」「糖尿病」は横ばいの状況にあり、「脂質異常症」は増加傾向にあることから、改善傾向はみられません。

糖尿病関連の推移（男女総数 令和元年～令和5年の各6月）

40歳～74歳を対象 (男女総数)	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月	令和4年6月	令和5年6月	令和元年6月と 令和5年6月の 割合の増減
被保険者数	11,849	11,307	11,117	10,683	10,041	
生活習慣病対象者 (A)	5,501	5,056	5,190	5,001	4,732	
糖尿病						
人数 (B)	2,177	2,056	2,111	2,025	1,878	
割合(%) (B/A)	39.6	40.7	40.7	40.5	39.7	0.1
糖尿病性腎症						
人数 (C)	131	134	131	140	131	
割合(%) (C/A)	2.4	2.7	2.5	2.8	2.8	0.4
糖尿病性網膜症						
人数 (D)	182	148	156	143	135	
割合(%) (D/A)	3.3	2.9	3.0	2.9	2.9	△ 0.5
糖尿病性神経障害						
人数 (E)	44	41	33	29	30	
割合(%) (E/A)	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	△ 0.2

高血圧症の推移（男女総数 令和元年～令和5年の各6月）

40～74歳を対象 (男女総数)	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月	令和4年6月	令和5年6月	令和元年6月と 令和5年6月の 割合の増減
被保険者数	11,849	11,307	11,117	10,683	10,041	
生活習慣病対象者 (A)	5,501	5,056	5,190	5,001	4,732	
高血圧						
人数 (B)	3,562	3,318	3,425	3,322	3,086	
割合(%) (B/A)	64.8	65.6	66.0	66.4	65.2	0.4

脂質異常症の推移（男女総数 令和元年～令和5年度の各6月）

40～74歳を対象 (男女総数)	令和元年6月	令和2年6月	令和3年6月	令和4年6月	令和5年6月	令和元年6月と 令和5年6月の 割合の増減
被保険者数	11,849	11,307	11,117	10,683	10,041	
生活習慣病対象者 (A)	5,501	5,056	5,190	5,001	4,732	
脂質異常症						
人数 (B)	2,544	2,386	2,519	2,420	2,307	
割合(%) (B/A)	46.2	47.2	48.5	48.4	48.8	2.6

第3期データヘルス計画の目標

長期目標

健康寿命の延伸の指標として、平均自立期間（要介護2以上）の年齢からを不健康期間とし、その年齢を指標とします。

目標項目		令和4年度（実績）	令和11年度（目標）
平均自立期間（要介護2以上）	男性	77.9歳	79.6歳
	女性	82.3歳	83.8歳

中期目標

健康寿命の延伸のために、「脳血管疾患」「虚血性心疾患」の患者割合の減少と「新規人工透析者」の人数の減少を指標とします。

目標項目	令和4年度（実績）	令和8年度（目標）	令和11年度（目標）
脳血管疾患の患者割合の減少 各年6月	4.6%	4.5%	4.3%
虚血性心疾患の患者割合の減少 各年6月	4.9%	4.7%	4.4%
年間新規透析導入患者数の減少	12人	11人	9人

短期目標

ア) 特定健康診査受診勧奨

事業の目的 被保険者が自身の健康状態を把握し、生活習慣の予防・疾患の早期発見が行えるように、特定健診受診率を向上させる。

指導	評価指標	計画策定時 実績	目標値					
		2022年度 (令和4年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
アウトプット	特定健診受診率（法定報告値）	36.8%	37.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%
アウトカム	特定健診未受診・生活習慣病未治療者の対象者の割合 (特定健診対象者/生活習慣病治療なし)	21.1%	21.0%	20.5%	20.0%	19.5%	19.0%	18.5%

イ) 特定保健指導利用勧奨（積極的支援）

事業の目的 特定健康診査の結果より生活習慣の改善を促し、生活習慣や検査値の改善を目指す。

指導	評価指標	計画策定時 実績	目標値					
		2022年度 (令和4年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
アウトプット	特定保健指導（積極的支援）実施率	10.4%	11.0%	11.5%	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%
アウトカム	特定保健指導（積極的支援）の対象者の割合	12.3%	12.2%	12.1%	12.0%	11.9%	11.8%	11.7%

ウ) 特定保健指導利用勧奨（動機付け支援）

事業の目的 特定健康診査の結果より生活習慣の改善を促し、生活習慣や検査値の改善を目指す。

指導	評価指標	計画策定時 実績	目標値					
		2022年度 (令和4年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
アウトプット	特定保健指導（動機付け支援）実施率	59.8%	60.0%	61.0%	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%
アウトカム	特定保健指導（動機付け支援）の対象者の割合	12.3%	12.2%	12.1%	12.0%	11.9%	11.8%	11.7%

エ) 生活習慣病予防事業（検査異常値放置者へ医療機関への受診勧奨）

事業の目的 特定健診を受診した結果、検査値が高値の方に医療機関への受診勧奨を行うことで、生活習慣病の発症及び重症化を予防する。

指導	評価指標	計画策定時 実績	目標値					
		2022年度 (令和4年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
アウトプット	受診勧奨発送率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム	受診勧奨後の受診者の割合	41.0%	41.5%	42.0%	42.5%	43.0%	43.5%	45.0%

オ) 生活習慣病予防事業（高血圧症・糖尿病・脂質異常症の疾患者の医療機関中断者への受診勧奨）

事業の目的 医療機関への途中中断者の方に、受診勧奨を行うことで、生活習慣病の重症化を予防する。

指導	評価指標	計画策定時 実績	目標値					
		2022年度 (令和4年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
アウトプット	受診勧奨発送率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム	受診勧奨後の受診者の割合	18.3%	19.0%	19.5%	20.0%	20.5%	21.0%	22.0%

カ) 糖尿病重症化予防事業

事業の目的 糖尿病にて医療機関に受診している方で、糖尿病についての認識を高め、生活習慣の改善を図ることで、糖尿病による重症化を防ぐ。

指導	評価指標	計画策定時 実績	目標値					
		2022年度 (令和4年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
アウトプット	事業参加者の達成率	0.0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム	HbA1cの改善率 (%) HbA1cが改善した人数/事業参加者	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%

キ) 重複・頻回受診者訪問指導

事業の目的 重複・頻回受診者に対し、適正な受診を指導することで医療費の適正化を図る。

指導	評価指標	計画策定時 実績	目標値					
		2022年度 (令和4年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
アウトプット	指導実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
アウトカム	受診行動改善率の増加	0.0%	—	—	—	—	—	—

ク) ジェネリック医薬品差額通知

事業の目的 ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知書を対象者に発送し、ジェネリック医薬品への切り替えを促すことで、医療費の抑制につなげる。

指導	評価指標	計画策定時 実績	目標値					
		2022年度 (令和4年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
アウトプット	差額通知発送回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回
アウトカム	ジェネリック医薬品 数量シェア率	82.5%	83.0%	83.5%	84.0%	84.5%	85.0%	85.5%

第4期特定健康診査等実施計画の目標

(ア) 特定健診受診率

特定健診の受診率の目標を令和11年度に60.0%とし、各年度の設定をします。

特定健診受診率の目標

特定健康診査受診状況 実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数 (人)	11,154	10,542	10,373	9,846	9,222	
受診者数 (人)	4,463	4,236	2,700	3,443	3,395	
実施率 目標値 (%)	37.0	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0
実施率 実績値 (%)	40.0	40.2	26.0	35.0	36.8	
特定健康診査 予測・目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対象者数 予測 (人)	8,236	7,783	7,355	6,950	6,568	6,207
受診者数 目標 (人)	3,130	3,113	3,310	3,475	3,612	3,724
実施率 目標 (%)	38.0	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0

(イ) 特定保健指導対象者数

特定保健指導対象者数の目標

		平成20年度比25%減少							
		平成20年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定保健指導対象者数 (人)	目標	実績値 826	実績値 485	470	458	445	433	420	408
減少率 (%)		41.3%減	43.1%減	44.6%減	46.1%減	47.6%減	49.2%減	50.6%減	

(ウ) 特定保健指導実施率

令和11年度に特定保健指導実施率60.0%を目標とし、各年度の設定をします。

特定保健指導実施率の目標

特定保健指導 実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数 (人)	639	608	391	520	485	
終了者数 (人)	263	249	164	218	214	
実施率 (%)	41.2	41.0	41.9	41.9	44.1	
動機付け支援						
対象者数 (人)	420	419	265	361	331	
終了者数 (人)	242	233	144	198	198	
実施率 (%)	57.6	55.6	54.3	54.8	59.8	
積極的支援						
対象者数 (人)	219	189	126	159	154	
終了者数 (人)	21	16	20	19	16	
実施率 (%)	9.6	8.5	15.9	11.9	10.4	
特定保健指導 予測・目標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対象者数 予測 (人)	471	467	498	521	542	559
終了者数 目標 (人)	212	224	249	276	298	335
実施率 目標 (%)	45.0	48.0	50.0	53.0	55.0	60.0

発行年月 令和 年 月

発行 坂東市 市民生活部 保険年金課

所在地 〒306-0692

茨城県坂東市岩井4365番地

電話番号 0297-35-2121 (代)